

製品安全データシート

1 製品名及び会社情報

製品名 : TMカウンター
会社名 : 日本化薬株式会社
住所 : 東京都千代田区丸の内2丁目1-1
担当部門 : アグロ事業部
電話番号 : 03-6731-5325
FAX 番号 : 050-3730-8045
緊急連絡先 : 平日昼間 アグロ事業部 (電話番号 03-6731-5325)
休日・夜間 鹿島工場 (電話番号 0479-46-2753)

2 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響

有害性 : 皮膚に接触した場合有害である。
飲み込んだ場合、吸入した場合有害である。
火災の場合には、塩化水素、シアン化水素、窒素酸化物、一酸化炭素などの有害ガスが発生する。
環境影響 : ミツバチに有害。水生生物に有害

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分3
	急性毒性 (経皮)	区分5
	急性毒性 (吸入)	区分4
	皮膚刺激性	区分2
	眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分1
	発がん性	区分外
環境に対する有害性	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分1 (神経系)
	水生環境有害性 (急性)	区分3
	水生環境有害性 (慢性)	区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素
絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害
- ・皮膚に接触すると有毒のおそれ
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・飲み込んだ場合、臓器(神経系)の障害
- ・水生生物に有害
- ・長期的影響により水生生物に有害

注意書き：

[予防策]

- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙はしないこと。
- ・取り扱い後は良く手を洗うこと。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・汚染された作業衣は作業所から出さないこと。
- ・環境への放出は避けること。

[対応]

- ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合：大量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・暴露した場合：医師に連絡すること

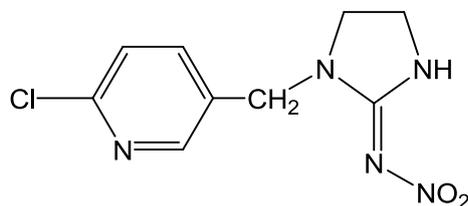
- [保管] ・施錠して保管すること。
- [廃棄] ・内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	：混合物		
成分及び含有量	：成分	イミダクロプリド	他成分
	：含有量(%)	80%	20%
CAS 番号	：138261-41-3 105827-78-9		
官報公示整理番号	：化審法 5-6226		
	：安衛法 8-(1)-2210		

化学名(又は一般名) : 1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-N-ニトロイミダゾリジン-2-イリデンアミン (一般名：イミダクロプリド)

化学特性(化学式又は構造式) : $C_9H_{10}ClN_5O_2$



4 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の所に移して安静にさせる。
直ちに医師の処置を受ける。
多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水または石鹼水でよく洗い落とす。
速やかに医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼する。
医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
速やかに医師の手当てを受ける。

5 火災時の処置

- 消火剤 : 噴霧水・泡消火剤・粉末ドライケミカル・炭酸ガス(適宜、状況に応じて使用する)
- 火災時の特定危険有害性 : 当該製品は分子中に塩素、窒素を含有しているため燃焼ガスには塩化水素、シアン化水素、窒素酸化物系などの有害ガスが含まれる。消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する必要がある。
- 特定の消火方法 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう適切な措置を行う。
- 消火を行うものの保護(保護具等) : 消火に当たる者は、有毒ガスが発生するので呼吸保護具を着用する。
消火の際は適切な保護具(マスク、眼鏡、手袋)を着用する。

6 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項 : 漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
処理時には保護具(防毒マスク、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣)を着用し、吸入したり、手足、顔などに付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 除去方法 : 飛散したものを掃き集め、密閉できる容器に回収する。
回収したものを再利用してはならない。廃棄すること。
- 二次災害の防止 : 粉体が風で飛び散らないよう十分注意する。
火花を発生しない、安全な器具を使用する。
付近の着火源となるものを速やかに除くと共に、消火剤を準備する。

7 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

技術的対策 : 炎、火花、もしくは高温体との接触または過熱を避ける。
取扱場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
取り扱いは換気のよいところで行う。
皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。
休憩場所には、手荒い、洗眼などの設備をもうけ、取扱い後には手などをよく洗う。
食品や飼料への混入を避けること。
指定された場所以外では、飲食、喫煙しないこと。
保護衣、保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。

[保管]

: 子供の手の届かない場所に保管する。
施錠出来る場所に容器のまま保管する。
容器を密閉して保管する。
日光と湿度を避ける。
食品や飼料と同じところに保管しない。
火気、熱源より遠ざける。

8 暴露防止及び保護処置

設備対策 : 局所排気装置の設置または全体換気を適切に行うことが望ましい。
管理濃度 : 設定されていない
許容濃度 : 設定されていない
保護具 : 保護メガネ、防毒マスク、ゴム手袋、保護衣(長袖)

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 顆粒状固体
色	: 淡褐色
臭い	: 特異臭
pH	: 6~8 (1%懸濁液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点	: 144°C (原体)
引火点	: 該当しない
爆発特性	: データなし
蒸気圧	: $<9.8 \times 10^{-5}$ Pa (25°C) (原体)
密度	: 0.48~0.57g/cm ³ (20°C)

溶解性

水溶解度	: 水に分散する
オクタノール/水 分配係数	: Log Pow = 0.73 (原体)

10 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件においては安定である。
避けるべき条件	: アルカリとの接触を避ける。

11 有害性情報

急性毒性	: 経口	ラット	雌	50< LD50 <300 mg/kg
	経皮	ラット	雄雌	LD50 >2000 mg/kg
	吸入	ラット	雄雌	LC50 >4830 mg/m ³

局所効果(皮膚、眼など)	: 眼刺激性	軽度の刺激性あり
	皮膚刺激性	中度の刺激性あり
	感作性	軽度の感作性あり

標的臓器/全身性(単回曝露) : 経口 ラット 100mg, 260mg 以上 神経系に障害あり; 原体文献情報

12 環境影響情報

残留性/分解性(原体情報): 酸化分解または加水分解

生態毒性

魚毒性	: コイ	LC50	>125ppm (96hr)
	ミジンコ	EC50	>125ppm (48hr)
	オオミジンコ	EC50	58mg/L (48hrs); 原体文献情報

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

1.3 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 毒物及び劇物の廃棄方法に関する基準に従うこと。
下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。
- 汚染容器、包装 : 空容器を再利用してはならない。

1.4 輸送上の注意

国際規制

- 陸上：ADR/RID : クラス 6.1 PGIII
- 海上：IMDG コード : クラス 6.1 PGIII
- 航空：ICAO/IATA : クラス 6.1 PGIII
- 国連分類 : クラス 6.1
- 国連番号 : 2588

国内規制 : 毒物及び劇物取締法 劇物

輸送の特定の安全対策及び条件 : 包装、容器が破損しないように乱暴な取り扱いを避ける。
取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。

1.5 適用法令

- 毒物及び劇物取締法 : 劇物(指定令第2条28の11)
- 消防法 : 非危険物
- 化審法 : 指定(2監)/147
- 労働安全衛生法 : 通知対象物質に該当しない
- 化学物質管理促進法 : 該当しない(2009年10月1日に施行された改正法に伴う記載)

1.6 その他の情報

- 記載内容の問い合わせ先 : アグロ事業部 03-6731-5325
- 改訂の記録 : 作成 2008年05月26日
改訂 2009年03月11日
改訂 2009年10月01日
最終改訂 2014年08月18日(本社移転に伴う住所変更)

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。また、記載事項は通常の取り扱いを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取り扱い願います。